今後の文京区認知症検診事業・診断後支援事業（案）

文京区の目標①「普及啓発」

壮年期から、より多くの人が
◎自分自身の脳の健康に意識を向ける
◎認知症を正しく理解する
◎困った時に相談出来る
◎生活習慣のポイントを理解し、生活に取り入れる事が出来る

POINT！
・検診対象以外の方も、定期的にセルフチェックする機会の確保
・のうKNOWによるチェックで、早期の認知機能低下をキャッチ出来る。
・相談先や生活習慣改善のポイントを伝えるリーフレット配布＆普及啓発イベント講座を実施
⇒より多くの人が、壮年期から脳の健康を意識した生活を習慣にし、異変が生じた際には早期に相談が出来る。

文京区の目標②「早期支援」

必要な人が早期に
◎容態に応じた適切な医療・介護・生活支援等を受けられる。

POINT！
・検診の根幹を医療機関へ。
⇒区民のニーズに合わせた検診受診機会の提供
⇒長期的に持続可能な事業運営の確保
・スクリーニング方法は、のうKNOWから長谷川式等の方法へ変更。
⇒のうKNOWで生じ得る手技の不慣れからくる誤判定をなくし、より正確なスクリーニングと専門医療への繋ぎが出来る。
・受診者には、来場型+繰り返し学べる自宅版フォローアッププログラムを案内。
・必要時、診断後支援事業、区と包括で個別フォローしながら医療・生活支援へ繋いでいく。

普及啓発

検診事業

診断後支援

拡充 検診対象者
５５・６０・６５・７０・７５歳

◎６月　**対象者全員**に**個別通知**

郵送物
セルフチェック/認知症ケアパス/啓発物/受診票　等

新規 一般区民
５５～７５歳の検診対象者以外で希望する方

◎６月　**区報等で周知**「認知機能をセルフチェックしませんか？」

◎電話・Logoフォームで申込受付⇒郵送　（受付期間：６～８月）

郵送物
セルフチェック/認知症ケアパス/啓発物　等

検診対象者・一般区民で希望する方共通

① **自宅で『気づきチェックリスト』＆『のうKNOW』を実施**

新規 ② **脳の健康に関する普及啓発イベントへの参加(任意)**
・運動・栄養・口腔ケア等の生活習慣改善ポイントのミニ講座・啓発ブース
・のうKNOW体験コーナー（自宅での実施が困難な方限定）

まずは脳の健康を自分事に！

セルフチェックの結果、心配のある方は認知症検診の申込へ

心配な人は、自ら医療機関や包括へ。
(必要時、高齢者あんしん相談センターや認知症サポート医を案内)

指定医療機関での認知症検診（６月～９月）

- **認知機能評価スケール：長谷川式　他**
- 本人の様子や生活状況を含め、医師が認知機能の低下の有無を、総合的に判断

医療・支援の必要性を判断！

認知機能低下の疑いあり
要医療
・必要時、認知症ともにパートナー事業に繋げる
精査が必要

認知機能低下の疑いなし
その他フォローが必要な人
例）誰も話す人がいない。不安が強い。

受診者全員
フォローアッププログラムを案内
（栄養士、歯科衛生士、健康運動指導士の講義）

高齢者あんしん相談センターを紹介
後日、担当者から本人に連絡

医療機関連絡書の発行

指定医療機関orかかりつけフォロー

認知症疾患医療センターでの精査

必要な方を
適切な医療や支援に繋ぐ

その後のフォロー
専門医療機関等で診断を受けた後は、文京区の認知症ケアパス等に沿って、対象者の状況に応じた支援を実施。

高齢福祉課
・帳票類とりまとめ
・**要医療・その他フォローの必要があった方**の状況を高齢者あんしん相談センターに提供

高齢者あんしん相談センター
・要医療者/その他支援が必要な人のフォロー
・必要時訪問・電話等で支援介入、社会資源の案内　等

〇来場型フォローアッププログラム
半日制×２日間
〇動画版フォローアッププログラム

⇒**生活習慣を意識・改善！！**

- 見守り
- 認知症カフェ
- 本人ミーティング
- 介護予防事業
- 介護保険
- 日常生活支援サービス　等